

〔下學集言辭〕人間萬事塞翁馬是宋人晦機師頌句也人間萬事塞翁馬推枕軒頭聽雨眠此句意人間皆用之翁曰惡何必惡一年胡國大亂壯年者戰死矣此子獨以臂折不出戰而得全壽矣由是視之則定善惡不測世態在今皆然達者鑒馬世俗口號吟此句豈云無意哉

〔朝倉始末記三〕朝倉太郎左衛門入道宗滴進發加州事

宮千代心思様角テ故郷ニ歸ナバ諸人ニ面ヲ曝シツ、後指ヲサ、レン事、永ク弓矢ノ瑕ナルベシ、身ハ一代名ハ末代ト聞ナレバ、軍功ヲコン勤メズトモ、自害ニ耻ヲ雪ント、略中腹搔切テ北枕ニゾ臥ニケル、

〔平家物語七〕さねもりさいごの事

今度北國へまかり下り候は、定而討死仕り候ふべし、實盛もとは、越前の國の者にて候しが、近年御れうに付られて、むさしの國長井に居住仕り候き、事のたとへの候ぞかし、故郷へは錦を著て歸ると申事の候へば、何かくるしく候べき、錦の直垂を御免候へかしと申ければ、略下

〔下學集言辭〕綸言如汗禮記云、綸言如汗、出而不返、云々、

〔平家物語三〕らいがう事

らいがうあじやり略中おそろしげなる聲して、天子にたはむれのことばなしりんげんあせのごとしとこそ承つて候へ、略下

〔駿臺雜話四〕運慶が口傳 いやしき諺にいふごとく、國の仕置は、すり木にて升の底をまはすが

ごとくすべし、すみぐすり木の行と、かぬところあり、其行と、かぬ所かへりて人のくつろぎ、事のよけいともなる程に、久しうしておのづから行と、くものなり、

〔空穂物語藏開上一〕ゆきまさの少將のかきつく、御すりのちかきをさらぬやうにて、ふでをとり給て、おほむくだ物のしたなるはまゆふに、かくかき給あなめづらしや、

政治

文學